

**事業所名** グループホーム 宗堂さくら苑  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 1月 5日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 介護保険施設勤務  
資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー  
B:現職 理学療法士  
資格・経験 障害児施設勤務(20年)、理学療法士、介護支援専門員、がくヘルパー講師

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住み慣れた地で、その人らしく、ありのままに、穏やかな共同生活を送れるように支援すること」を理念としており、「生きていて良かった」と入居者が感じ、日々、喜びと安心感を抱いて暮らせる場の提供に努めている。</li> <li>・医療面での支援体制の充実を図り、入居者・家族共に不安なく暮らしてもらえるように取り組んでいる。</li> <li>・清潔で衛生的な住環境の提供を心がけ、入居者が気持ち良く過ごせる場の提供に取り組んでいる。</li> <li>・職員の就業体制や人員配置を整え、ゆとりを持って入居者一人ひとりに対応できるよう心がけている。</li> <li>・加齢や重度化に伴い、車椅子を使用したりベッドで過ごす事が多くなった入居者にも、外部での行事に参加したり、日常生活の中で楽しみを実感できる支援の提供に努めている。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前と変わらぬ暮らしを継続し、入居者が落ち着いた気持ちで過ごせるよう、各居室に畳スペースを設けたり、ベッドで過ごすことが多くなった入居者には、窓から周囲の山や畑が見渡せるように配慮する等、今までの生活を感じながら、安心して穏やかに暮らせるよう支援している。</li> <li>・リビングにはゆったりとしたソファを配置し、入居者がテレビを観たり、ぬい絵をしたりゆっくりと過ごせるように配慮している。また、入居者それぞれの思いやペースを尊重し、自由に時間を過ごせるように心がけている。</li> <li>・毎日、代表者である院長の回診があり、毎日顔をあわせることで安心し、落ち着ける入居者も多い。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### 外部評価の結果

講評
<p>全体を通して特に良いと思われる点など(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道沿いの田園地帯の中にホームはあり、背景には緑豊かな山々が臨める。季節の移り変わりを肌で感じながら生活できるよう、できる限り外出の機会を設け、地域との交流も図りながら入居者が穏やかな気持ちで生活できるよう支援している。</li> <li>・運営母体である医療機関が隣接しており、医療との万全な連携により、入居者の日々の健康管理への迅速な対応が行われている。また、代表者である院長が毎日訪れて入居者の様子を診ており、健康面での安心は入居者の心の安定にもつながっている。医療・介護の両面から地域を支え、地域に根ざしたホームとして地域との交流も深めている。</li> <li>・職員が心にとりを持って入居者のケアに携われるよう、職員の就業体制の充実を図り、馴染みの職員による継続したケアの提供に取り組んでいる。</li> <li>・共用空間は日当たりが良く、明るくゆったりとしている。掃除等衛生面にも配慮し、入居者が居心地良く過ごせる生活の場を提供している。</li> </ul>
<p>特に改善の余地があると思われる点(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者を始め、職員は質の高いサービスの提供に熱意を持って日々現場で取り組んでいる。更なる充実したケアを提供するためにも、職員一人ひとりが入居者により深く関わり、喜びを引き出せるような言葉かけや働きかけ等スキルアップを図り、今後も、入居者が「生きていて良かった」と思える支援を提供していけることを期待する。</li> </ul>

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の変容に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の今までの生活や経験の把握に努め、絵を描いたり、書道をしたり、洗濯物をたたんだり等、一人ひとりが喜びを感じ、やり甲斐や張り合いを持って取り組めるように働きかけている。入居者の作品は、居室やリビングに飾り、来訪者にも見せてもらっている。</li> <li>・入居者個人に関係した書類は、事務所管理している。来訪者の面会簿は入り口に置かず、職員の記録に留めるなど、個人情報の取り扱いには十分留意している。</li> <li>・排泄や整容に対するプライバシーが確保できるよう、各居室には、トイレと洗面台が備え付けられている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護度の重い入居者が比較的多いが、外出ができる入居者には出来るだけ外出の機会を提供し、恵まれた自然環境を満喫し、喜びを感じる暮らしの提供に努めている。</li> <li>・入居者が安心し、落ち着いた気持ちで暮らせるよう、充実した職員配置を活かし、入居者一人ひとりにゆとりを持って接するよう心がけている。</li> <li>・問題発生時には、職員間でよく話し合い、ケアのあり方を充分検討して共通認識を深め、統一したケアサービスの提供に努めている。</li> </ul>		